

横浜技術士懇話会500回を振り返って

……私と会とのかかわりについて……

横浜技術士懇話会第501回月例会

2025年12月12日

齊藤 一夫

私の略歴

- 1941.10 福井県武生町（現越前市）生まれ
柴式部が越前国司の父と1年半暮らした町。柴式部公園ある。
- 1965.4 横浜国大機械科を卒業し三菱重工横浜造船所鉄構部門に入社
国内、輸出向けダム・河川用ゲート、高圧バルブなどの設計、開発に従事
輸出ゲート（カナダ、台湾、インドネシア、シンガポール、ナイジェリア）の現地SV
ジェットフローゲートを米国BRより導入、製品化。
- 1989 新製品開発部門の新設により責任者として開発担当、その後パーキングシステム部
で立体駐車場の設計開発に従事。
稼働中開発製品：重量物立体格納設備 -- 観光バス、コンテナシャーシなど
平面往復式大規模立体駐車場 (IPS)、横浜アリーナ可動床・席
- 1997.4 菱日エンジニアリング社（菱日技）に入社。役員として三菱重工の設計、研究部門支援、
分析業務（ダイオキシン、水質、土壤）等を担当。
- 2001.6 菱日技社を退職。齊藤設計事務所開設、総合設計コンサル（東建コンサル）と設計委託業務契約。
国土交通省向け設計プロポーザル支援、コンサル若手技術者の指導、育成。
- 2008.10 同社との業務契約終了。現在に至る。
趣味：旅行、グラスリッヂエン、他

横浜技術士懇話会500回の流れと私の関わり

○第1回～第100回（1979.5～1988.6）

輸出依存経済の転換期 1985年プラザ合意により円高
へ（235円/弗→150円/弗）→ 景気後退防止の低金利政策
→ バブル経済へ、日航機墜落520名死亡（1985.8）

第1回（1979.5）：初代会長 浜田 修氏（高工応化1936年卒）

浜田氏発案で横浜技術士懇話会が発足

横浜高等工業高校、横浜工業専門学校、横浜国立大学卒の
技術士の相互技術研鑽と親睦のため

第2回（1979.6）：会員名簿 参加会員数18名 内技術士事務所経営者10名

高工卒12名、工専卒4名、国大卒2名

会名称、横浜技術士懇話会はまだ仮称

- 第1回～5回 会員募集、会運営について協議
- 12回/年 開催 → 1982年より11回/年定着
- 技術士事務所開設・運営に関するテーマ多い
- 講演以外に特定テーマについての討議会を実施
- 海外企業の技術指導（台湾、ベトナム）
- 技術テーマ（ステンレス鋼、省エネ、TQC、ヒートポンプ、有害廃棄物の処理、アモルファス ETC）

○第101回～200回（1988.7～1997.7）

バブル崩壊により経済低迷。失われた10年、就職氷河期。

1995.1：阪神淡路大震災、1995.3：地下鉄サリン事件。

社会の安全神話が崩壊。

○第144回（1992. 6）「人工降雪と屋内スキー場」に

初めて出席 以後散発的に参加

○北朝鮮見聞録、北方四島を訪れて、中国環境事情視察・見聞録、アメリカでの見聞録・失敗談、インド合弁会社での生活

- 電鋳技術をバングラデシュに技術指導（鈴木俊照氏）
- 気泡の除去技術（鈴木隆司氏）
- プラスチック成形の新技術開発と諸問題（浜田修氏）
- 自由討議：今後の日本の技術の行方
リサイクルについて
- 横浜国立大学の現状と未来展望（山口享氏）
- 石炭の流動化（佐久間精一氏）

第201回～300回（1997.9～2006.9）

デフレ、雇用不安、少子高齢化等の社会問題の深刻化。

IT、携帯電話の普及、暮らしコミュニケーションが大きく変化。

平均寿命：男性79.0、女性85.81

○第238回（2001.1）鈴木英雄氏が第2代会長就任

○第266回初回講演：立体駐車場（特に機械式）
の現状について

○第293回（2006.1）NPO法人設立（継続研修CPD）
理事長に齊藤が就任

○第300回記念大会を横国キャンバス内で開催
横国学長を招待。

○技術士が元気よく仕事するための考え方と具体的な
業務例（浜田 修氏）

○コンピュータによる画像処理（喜多 知恵夫氏）

○討議：地球温暖化とエネルギー問題（3回実施）

スペースシャトルコロンビア号の事故を含め
工学技術信頼性を考える。

○最近のロボット技術について（富永 岳彦氏）

○第301回～400回（2006.10～2015.12）

2011.3東日本大震災（福島原発事故）、防災意識、エネルギー政策見直し。少子、高齢化が一段と進み社会保障費の増大。リーマンショックによる世界的な経済悪化。安倍のミクスによる景気対策。

○第320回天然ガス利用について。化学工場の作り方（山本陽一 氏）

○公共施設（道路橋、水門等の河川維持管理施設、港湾岸壁等）の高齢化とその対応について

○ダム管理施設、特に流水管理施設の状況・維持管理について

○第348回（2011.3）は3.11大震災のため休会

- 討議：3.11大震災以降の原子力発電の方向付け（3回）
- 横浜国大フォーミュラ・プロジェクトの活動報告
(第386回 (2014.9) 初回、397回)
- 水中に沈めたテレスコピック多段シリンダーゲート
引き上げ時に残留する水量の計算（五十嵐保、齊藤）
- 鈴木達治先生の「名教自然」色紙を入手
- 幻の企業、相模工業（井上正美氏）

○第401回～500回 (2016.1～2025.11)

少子高齢化と団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題、
医療・介護サービス需要が爆発的に増大し社会保障費の増大。
労働力不足と生産性の低下、経済の低成長と消費の低迷。
新型コロナのパンデミック。社会インフラの老朽化、地球温暖化
加速など環境問題、データ流通増加に伴う消費電力増大。
生成AIの急速な開発発展とその功罪が国際問題化。

○第401回 (2016.1.15) NPOを解散し任意団体へ。

第3代目会長に齊藤就任

○第407回 「究極の軽量化スーパークーパーNSX】開発に 参加して (鈴木 弥栄男氏)

○第425回LNG包括安全認識と豊洲市場地下水ベンゼン問題
について現場運転管理技術者OBの優雅な生活 渡邊一男 氏

○新型コロナパンデミックの影響

○2021.1～2021.3 新型コロナのため休会

○第452回（2021.4）～第457回（2021.9）、第460回
新型コロナのためZOOMによるオンライン方式

○第458回（2021.11）、第459回（2021.12）

コロナ感染予防対策のため参加者を会議室定員の
半分に制限、入室前検温、マスク着用。

○2022.2 新型コロナウイルス対応のため休会

○東電福一事故における被害軽減対策の検討 米山潔氏

○本邦初、世界初の開発製品（稼働中）の事例紹介

コンテナシャーシー立体格納、横浜アリーナ可動席、立体駐車場IPS

○特別例会（2017.8）井上正美氏のご発案

終戦記念日に寄せて

- ・日本軍はペリリュー戦をいかに戦ったか（齊藤）
- ・私の戦争体験（井上氏）

○おもしろいダムの話 あれこれ

○近年の気候変動による降雨量増加等で発生している
激甚災害にどう対処すべきか・・国の災害対策は

- 世界初の大規模、高速、快適安全な駐車場IPSは8枚のプレゼン資料から生まれた
- 自動車トンネルの安全施設について
- Robo+ismの活動と今後について
- 爆速開発について（西海秀文 氏）

○名物先輩の紹介

浜田 修 氏 (高等工業応化 1941年卒)

横浜技術士懇話会設立の発起人、初代会長

レイテ島戦0.5%の生き残り（日本兵2万人中生存400人）

(レイテ戦記著作)

氏の信念：戦争は自然現象ではなく為政者の方便である。

平和とは戦争のない状態でなく、戦争と戦える
潜在の力である。

プラスチック加工の専門家、韓国への技術指導に尽力

2代目会長 鈴木 英雄 氏（工専航空 1944年卒）

人力ヘリコプターの開発に挑戦・着手
目標はシコルスキー人力ヘリコプター開発
煙風洞を自宅に作成のため元防衛大教授五十嵐保氏に支援依頼
カーボンファイバー翼作成のため横国人力飛行機部と一緒に訪問。

残念ながら生前に完成したとの報告は受けていない。

シコルスキー人力ヘリコプター

60s 浮上、少なくとも一度地上から3mの高さに到達
その間操縦席の位置が10m四方の範囲から出ない。
1980年以来世界で5機成功。

井上 正美 氏（工専機械 1948年卒）

海軍兵学校（江田島）最後の新入生

昭和20年8月6日 広島原爆投下を学校の庭から目撃

企業経営・診断、人材育成が専門。三菱重工先輩（名古屋空調機）
相模工業社の再建に尽力。

（当時朝鮮戦争の特需で日本は沸いていた。）

当懇話会に大変ご指導頂く。何度もあざみ野の店で当会の有志と
面談協議。

著書多数：甦れ日本の技術者、企業経営におけるMSの真実、
“幻の企業”相模工業物語、私のモノづくりビジネス
体験伝承

村田 徳治 氏（横浜国大応化 1958年卒）

産業廃棄物、資源循環、再利用などを専門に活動

技術士村田徳治事務所を経て（株）循環資源研究所を設立

官公庁、外部団体等の検討委員など幅広く活動・活躍。

著書多数：化学で考える、化学はなぜ環境を汚染するのか、

正しい水の話、産業廃棄物有害物質ハンドブック

他多数

水が腐るとか、柔らかい、硬いなどというのは

でたらめ、真っ赤な嘘と。

根本 直樹 氏（工専機械 1950年卒）

日野自動車トラック テストドライバーとして米国ハイウェーを走破。大阪大機械非常勤講師。仕事に大変厳しい人。

等々力 亮 氏（横国機械 1953年卒）

オリンパス工業で世界初の内視鏡を開発。

横浜技術士懇話会事務局として永年に亘ご尽力、齊藤が会長の時もお世話になった。

技術士事務所所長、企業診断、台湾技術支援。

鈴木 隆司 氏（横国機械 1953年卒）

(株) オーパス 社長、創始者

液体中の微細な気泡を効率よく除去する技術を開発し企業化。

旋回流の原理を用いた独自技術を開発。

気泡除去により製品の品質低下を防ぐ。（油，粘性体--）

80歳で工学博士号を取得。

下河原 栄治 氏（横国造船 1955年卒）

しんかい6500に研究者として乗船潜航（往復16H）

しんかいの保守管理。（海洋研究開発機構（JAMSTEC））

大陸棚上の資源に関心深い。

ご清聴ありがとうございました。

横浜技術士懇話会の三代目会長をお受けして以来、第500回までの約17年、色々な出来事が有りました。

この懇話会と関りを持つことで、諸先輩を含む多くの方々に接し、人間的に多くの事を学ばせて頂くと共に、多分野の講演を聞く機会を多く得て知識の幅も大きく広がりました。

この様にこの素晴らしい会を継続できましたのも諸先輩方、会員そして会員以外の皆様の暖かいご指導、ご支援のお陰と感謝しております。

この会が新会長 鈴木弥栄男氏 の元、更に永く継続、発展することを信じております。最後に新会長そしてそのスタッフの皆様への暖かいご支援を今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

2025年12月12日 第501回月例会
齊藤 一夫